



第 6 回



テニュアトラック教員支援セミナー

日時：2013年4月25日(木) 18時-19時

場所：臨床講堂 第二

演者：赤川浩之 テニュアトラック准教授

所属：東京女子医科大学 統合医科学研究所

タイトル：「脳卒中の分子遺伝学」

公開
セミナーです
ぜひご参集
ください

要旨：脳卒中とは、主に脳梗塞、脳内出血そしてクモ膜下出血からなる脳血管疾患の総称である。現在、本邦での死因の第3位にランクされており、病態解明および新規治療法開発に対する社会的要請が高い疾患群のひとつといえる。

これら脳血管疾患のうち、重篤なクモ膜下出血をきたす「脳動脈瘤」、また日本人に多いことを特徴とする「もやもや病」は、いずれも遺伝的背景が高く疾患遺伝子研究の良い対象となる。脳動脈瘤は一般人口のおよそ5%に存在する common disease であり喫煙などの環境要因も発症と関連していることが知られている。このような多因子疾患の遺伝解析法としてゲノムワイド関連解析 (GWAS) が一般的であるが、この方法では捉えきれない遺伝要因として稀な遺伝子変異 (rare variant) の検索が注目されている。検索には本学でも稼働している次世代型シーケンサーが威力を発揮する。rare variant を用いた脳動脈瘤の遺伝子解析法の実際を提示する。

もやもや病は、原因不明の脳主幹動脈の狭窄や閉塞に伴い「もやもや」した異常血管が増生してくる疾患で、脳出血や脳虚血発作の原因となる。近年、染色体17q25.3領域に有力な遺伝子座が同定されているが、本学の次世代型シーケンサーを用いて詳細な連鎖不平衡解析による検討を加えているので併せて報告する。

■お問い合わせ

統合医科学研究所 古川 徹(内線29675) furukawa.toru@twmu.ac.jp

総合研究所 竹宮孝子(内線30425) takakot@lab.twmu.ac.jp